

小児

麻黄湯さえあれば

うちでは発熱で受診されると、カゼの話をしませす。
漢方薬を希望であろうがなかろうが全員に私がします。
これが結構疲れるのであります。
初診さんが1日に6人以上くると、喋るだけでへロへロです。
お子さんが発熱した場合は、まず麻黄湯(まおうとう)を使うことが多いです。
葛根湯(かっこんとう)、桂枝湯(けいしとう)、麻黄附子細辛湯(まおうぶしさいしんとう)などを使うこともあります。
麻黄湯は高熱の時に、時間をつめて2-3時間おきに飲んでくださいね、と説明しています。
が、もともと麻黄湯はゼロゼロする咳(喘息)、乳児の鼻閉塞、哺乳困難に適応があります。
ですから、カゼをひいたら違う漢方薬を飲まなくても、麻黄湯を1日2回、3回と飲ませておけば治ることが結構あります。
37.5℃以上に熱が上がってきたら、2-3時間おきに飲めば、発汗・解熱を促します。
週末の1日、2日なら家に麻黄湯さえあれば何とかあります。
胃腸カゼ用に五苓散(ごれいさん)があれば、よほどのことがなければ慌てずに済みます。



小児夜間急病センター当番日

8月4日(金) 19:30-22:30(受付) 場所:岐阜市民病院

夏祭り 8月26日(土) 13:30-16:00(片付け終了)

クリニックで行います。恒例の夏祭りです。気楽にお越しください!

大人

冷えておなかが痛い

まさか、この蒸し暑い季節になんでしょか?という話です。
初診で来られた40代女性です。
訴えは、差し込むようなおなかの痛み、です。
内科で検査を受けたが異常なし。
事務職の方ですが、仕事に差し込むような痛みが突然始まり、とても仕事をしていられなくなります。
原因不明と言われ、もしかしたら精神的なことが原因?と思っていたそうです。
なぜかご縁で当院を受診されました。
診察してすぐわかったので、極度の冷え、の方です。
手足、おなかがキンキンに冷えています(外は30℃超えですよ)。
これは、漢方でいう“疝(せん)”というやつですな。
寒疝と腹痛というテーマがありまして、漢方では結構得意分野です。
まずは、当帰四逆加呉茱萸生姜湯(とうきしぎゃくかごしゅゆしょうきょうとう)を2週間飲んでいただきました。
「お湯で溶いて飲んだら、美味しかった!」
黄連解毒湯などを美味しいという方はいましたが、
当帰四逆加呉茱萸生姜湯を美味しいと言った方は初めて!です。
「良かったですねー、この漢方薬はあなたに合いますわ」
「そうですよね。これを飲んでから1回もおなかが痛くならないです、ビックリしました」
真夏に突入していきますが、この方は当面これを飲むことにしました。
事務職で座っているところがエアコンの風で冷えるようです。
暑い夏ほど、冷え症の方が増える原因です。



岐阜市の漢方外来 8月5日(土)、12日(土) 14:00-17:30

場所:中島小児科 院外処方箋となります。

休診日 8月10日(木)、14日(月)、15日(火)、23日(水)が休診となります。

御迷惑をおかけしますが、よろしくお願ひします。